

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和6年11月12日 文責:校長 森川 稔



祝 創立150周年!

秋の深まりを感じさせる一日となった日曜日(10日),ご来賓,保護者,地域の皆様約220名にご来校いただき,本校創立150周年記念式典を挙行することができました。

多くのご来賓を代表してご祝辞をいただいた大久保堅太様からは,本校の目指す子ども像である「やさしく」「かしこく」

「たくましく」は,大人になってもずっと心の中にある大切な言葉であり,そんな心を持った子どもが学ぶ田平東小がこれからも地域の心のよりどころであってほしいというお言葉をいただきました。



周年事業として取り組んだカウントダウンボードや記念マーク

などの紹介ではその一つ一つに拍手していただき,地域と家庭,学校が一緒になって創立記念を祝う喜びを実感しました。

式辞でも述べましたが,150周年という節目を共に過ごせることに縁を感じ,これからさらに発展していける学校を目指して一層努力していこうと気の引き締まる思いです。今後とも本校の教育活動への変わらぬご理解,ご協力をお願いします。ご多用な中,多くの皆様のご来校,お祝いのお気持ちをいただきありがとうございました。



練習の成果を見ていただきました

式典に引き続き,学習発表会を行いました。各教科で取り組んだ内容をもとに,音楽や総合,生活科,国語などに関連した演目を見ていただきました。大勢の方に見られ,緊張の中発表していた子どもたちの姿はいかがだったでしょうか?

学校の果たす使命として,確かな学力を身につけさせることがあります。そのためには,自分の思いを自分の言葉や行動で表現できることが大切です。今回の発表を通して,子どもたちは自分に自信をもって今後の学校生活を充実させていくことと思います。

当日の会場でもたくさん寄せていただきましたが,ご覧になったご感想をQRコードからでも結構ですのでお聞かせいただき,それを子どもたちにも紹介してさらなる意欲につなげていきたいと思っています。



ようこそ先輩、ありがとう先輩

記念式典、学習発表会の最後は、本校卒業生で和傘職人「骨師」でご活躍なさっている前田健吾様にご講演いただきました。東小の児童だったころからもの作りが好きだった前田少年が、社会人になって、車関係の仕事に就かれていたとき、たまたま目にした和傘に魅せられ、その後努力を重ねて今のような日本に3人しかいない仕事で人生を歩まれているお話をしていただきました。



普段なかなか目にしたり手に取ったりする機会が少ない本物の和傘(すごい高級品!)を実際に触って、子どもたちは興味津々で「きれい」「かるい」「作りが複雑」などいろいろな感想を

持っていました。

ネットやテレビなどのメディアでいろいろなものをいつでもどこでも見ることができる便利な世の中ですが、演劇や音楽などとともに、この和傘も本物にふれることで色や質感など五感を通してそのものの良さを味わうことができたのではないかと思います。

最後に「最強の小学生になるためのアイテム」として「ありがとう」という言葉を大切にしてほしいということをお話いただきました。いろいろな困難な場面に出会っても、それをポジティブに捉え「ありがとう」という気持ちで接することで、前田さんはいろんな人と出会い、技を身につけ、それをご自身の最強のアイテムとされているのではないかと思います。



田平町、東小という「ふるさと」を大切に思い、岐阜県で全国や世界に向けて活躍なさっている前田さんの姿や言葉一つ一つが心に響き、子どもたちのみならず会場にいたすべての皆様にとってもすてきな時間となりました。

田平東小HPはこちらから→

